

JAFMate

ジャフメイト 2019

2・3

フランス、セルフドライブ紀行 (P8)

ドライブで疲れない、簡単ストレッチ (P16)

「今、日本を走ろう。」軽井沢町、小諸市、上田市 (P24)

JAF優待で、日本のおいしいものお取り寄せ (P52)

インタビュー・岩合光昭 (P21)

エッセー○平松洋子、松任谷正隆

いい子だねえ

あなたも、
デジタル
会員証を
利用して
みませんか？



P53も
ご覧ください。



France

オーヴェルニュ・ローヌアルプ地方



フランス、 セルフドライブ 紀行

—— 大人のプチ冒険

フランスをレンタカーで走ってみませんか？ そんなお誘いが昨夏、編集部に舞い込みました。場所は、絶景や特色ある町が点在するオーヴェルニュ・ローヌアルプ地方。ドキドキワクワクのフランス初ドライブ。そこで出会ったものとは——。



Self-Drive
Journey
in
France

Auvergne

ベシエ湖畔に建つ、ア
ンスタン・ダブソリュ
・エコロジー&スパ
(Instants d'Absolu
Ecolodge & Spa)。
夜は満天の星、朝は対
岸からカウベルの響き
が聞こえてきた。



Rhône-Alpes



車だからこそ 巡り会えた、 人生のご褒美の ような場所

オーヴェルニュの主要都市のひとつ、クレルモン・フェランから車で約15分。駐車場から登山電車に揺られて山頂に着くと、見たこともない雄大な風景が広がっていた。

ここは、80もの火山が一系列に連なるピュイ山脈の中心、ピュイ・ド・ドーム（標高1465m）。地殻変動のプロセスと地球の歴史を大自然の中に見ることができると、昨年、世界自然遺産に登録された。

ここからペシエ湖方面へ、視界が開けた牧草地の中の、起伏に富んだワインディングロードに行く。まるで自分と車が一体になったような感覚。「運転が好き！」と、快哉を叫びたくなるような楽しい道だ。途中のチーズ街道で、ボレルさんの工房を訪ねた。牛の飼育からカーヴでの熟成まで、



上3点/コスタさん(中)が、築300年の農家を買って3年がかりで改装したエコロージュ&スパ。12の客室はすべて異なるインテリア。ジャグジーや、サロンには暖炉もある。右/ゲリー湖名物のマス料理。

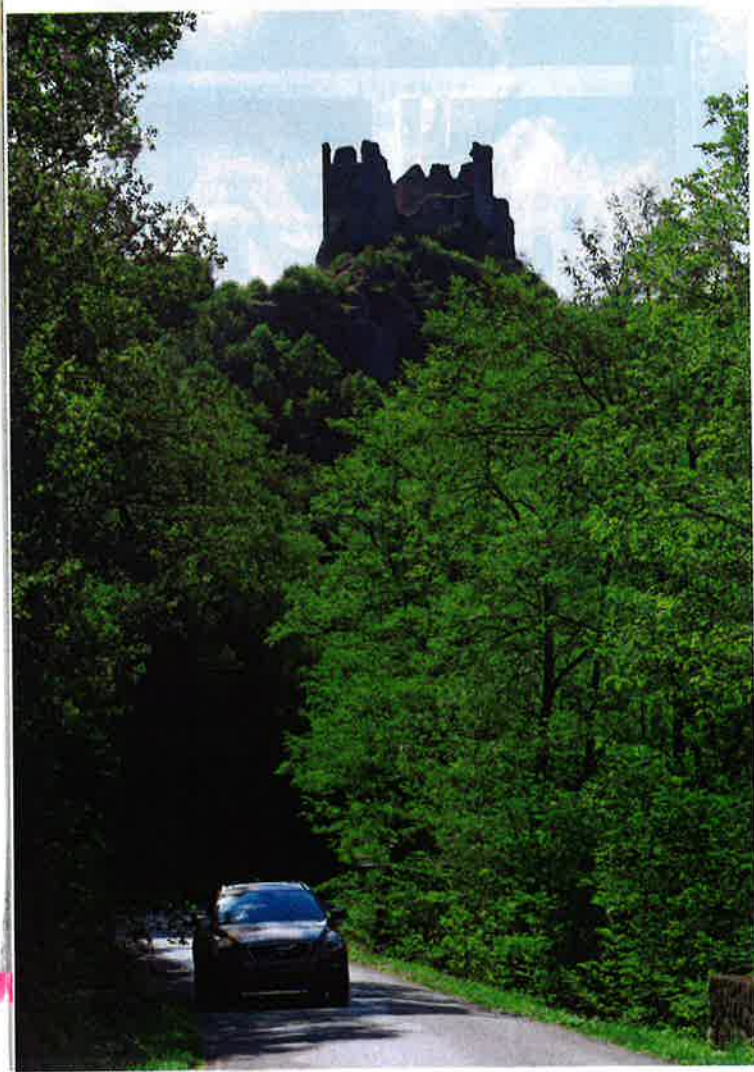
下中/オーヴェルニュチーズ街道には、チーズ工房が点在。写真は、工房フェルム・ルーのボレルさん。下左/クレルモン・フェランに本社があるミシュランのテーマパーク、アヴァンチュール・ミシュラン。

Auvergne Rhône-Alpes

中世以来の伝統製法で、名産のチーズを作る。フランスが世界に誇る美食は、こういう人たちの地道な仕事によって支えられていることを知る。

オーヴェルニュには、中世に建てられたロマネスク教会もたくさん残る。代表的なものひとつ、サン・ネクター教会に寄り、宿へ向かった。ペシエ湖畔の一軒宿、アンスタン・ダプソリュ・エコロージュ&スパは、フレンチアルプスの高級リゾートで働いていたコスタさんが、偶然出会った人から「あなたはここへ行くといい」と教えられて巡り会ったという場所。周辺環境と古民家に一目で魅せられ、自然に触れて自分自身と向き合える場所にしたと、2010年にオープンさせた。パートナーのシエジェルさん担当の、地元食材を使った料理をゆつくりと時間をかけて味わい、湖面を渡る風の音を子守唄にして眠りに就く。まるで人生のご褒美をもらったような、贅沢な夜だった。

撮影=村上宗一郎 ※取材・撮影は2018年8月末から9月上旬に行いました。



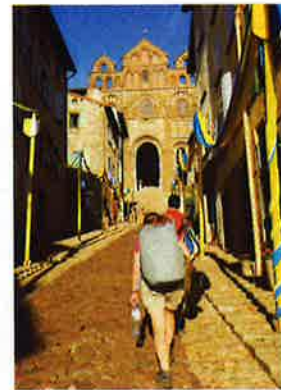
上/ピュイ・ド・ドームからの
大パノラマ。山頂まで登山電
車で約20分、徒歩で約1時間。
下右/ジウル川の蛇行ポイン
ト、メアンドル・ド・クイユ。
下左/ドライブの途中、こん
な古城もいくつか見かけた。



ローヌ川沿いの町、タン・レルミタージュ。カーヴ・ド・タン社のワイナリーや、ヴァローナのチョコレート工場の見学ができる。左2点は、山田恵子さんがフランス人のご主人と営むレストラン、ル・マンジュヴァン(Le Mangevins)。



2つの奇岩の上からサン・ミッシェル礼拝堂と聖母像が町を見下ろすル・ピュイ・アン・ヴレー。右はノートルダム大聖堂と黒いマリア像。4月末から9月末は、市内8か所でプロジェクションマッピング(ロゴ横写真)も。



Auvergne Rhône-Alpes

今回の旅では、初めて会った

観光客が訪れるという。食事や宿泊を目的に、世界中から観光客が訪れるという。

ここから進路を南へ取り、ヴァランスへ。名店メゾン・ピックがある美食の町。この店での

霧囲気は一変した。南仏に近いと感じさせる明るい陽光の下、ぶどう畑が斜面を覆う。フランスらしい風景が楽しめる。

山を越え、ローヌアルプの町、タン・レルミタージュに入ると、霧囲気は一変した。南仏に近いと感じさせる明るい陽光の下、ぶどう畑が斜面を覆う。フランスらしい風景が楽しめる。

祈りの町、
美食の町。
歴史と文化を
体感する楽しさ

ル・ピュイ・アン・ヴレーも、

一度見たら忘れられない独特な風景の町だ。スペインのサンテ

イアゴ・デ・コンポステラ巡礼路の出発地のひとつ、ノートル

ダム大聖堂や、町でいちばん古い歴史を持つサン・ミッシェ

ル礼拝堂など、見どころがたくさん。巡礼者や観光客も多く、

おみやげ物屋さんをのぞいて歩くのも楽しい。

山を越え、ローヌアルプの町、

タン・レルミタージュに入ると、霧

囲気は一変した。南仏に近いと感

じさせる明るい陽光の下、ぶどう

畑が斜面を覆う。フランスらしい

風景が楽しめる。



オーヴェルニュ・ローヌアルプドライブ案内

知っておきたい、おもなポイントをご紹介します。

●日本を立つ前に

国際運転免許証を取得

フランスで運転するには国際運転免許証が必要。お住まいの地域の運転免許センターなどで申請・取得する。フランスには日本の運転免許証も持参。

レンタカーの予約

AT車は数が少ないので、必ず日本で予約しておこう（海外で使用可能なクレジットカードの所有や年齢条件などあり）。荷物がすべてトランクに入る大きめの車を選び、「対人・対物・搭乗者・車両」がセットになった保険と、カーナビもつけておくと安心。内容をよく確認してから予約しよう。ハーツレンタカー、エイビスレンタカーは、JAFの会員優待あり。

●現地で

レンタカーを借りる

予約確認書などを提出し、手続きをする。このとき保険などの条件とガソリンの種類などは再度確認を。あわてて出発せず、わからない操作などがあれば、確認しておこう。

●ドライブの注意

ルートを予習

初めての道は不安なもの。事前に、走るルート（高速の入口・出口、道番号など）を予習しておこう。走行時は、フランス語（または英語）のカーナビと日本語の地図アプリなどを併用すると便利。大都市は、道が複雑で交通量も多いので、避けたほうが無難。

取材協力＝フランス観光開発機構
<http://jp.france.fr/>
 オーヴェルニュ・ローヌアルプ地方観光局
www.auvergnherhonealpes-tourisme.com、
 ハーツレンタカー www.hertz-japan.com

左ハンドル、右側通行

フランスは、日本とは逆の右側通行。左ハンドル車なら、「自分のすぐ左がセンターライン」と常に意識して走るといいかもしれない。道路に出るときや、交差点を曲がるときなどは、とくに逆走しやすいので要注意。

制限速度は日本より高め

制限速度は標識で表示されるが、標識のない場所は、街中が時速50km、街中以外で中央分離帯がなく、片側2車線以上の道路は90km（天候不良時80km）、同片側1車線は80km、中央分離帯のある道路110km（同100km）、高速道路130km（同110km）。メリハリの利いた運転が求められるが、無理をせず、自分のペースで。

ロータリー（ロン・ポワン）

日本ではラウンドアバウトと呼ばれる、ロータリー状の交差点が多数存在。走行は日本とは逆の、反時計回り。左から来る車に注意して流入し、目的の道の手前でウイカーを出して右に寄り、流出する。ロータリー内は停止厳禁なので、出そびれたときはあわてずに、もう一周すればOK。



高速道路の料金所

オレンジ色のマークは、日本のETCと同様の専用レーンなので、進入しないように注意。緑色の矢印がついたレーンや、コインやお札が描かれたレーンに入ろう。クレジットカードが使えない場合もあるので、あらかじめ現金も準備しておくと安心。入口でチケットを取って出口で支払う道路と、入口で一律料金を支払う道路がある。



日本にない標識、右側優先

交差点や合流点の手前にある標識、赤の逆三角形は「ゆずれ」、黄色の菱形は「こちらが優先」の意味。これらの標識がない交差点は、道幅に関係なく、右からの車が優先。また、地名の上の赤斜線は「街の終わり」を示す。ほかに、赤の点滅信号は青になるまで発進できない。日本とは異なるルールなので、覚えておこう。

